

## 第6回長野県小水力活用検討会 報告書案に対する意見

番号	意見
1	第3章賦存量調査で、他賦存量との比較があるが、これは3-3賦存量結果の下に参考扱いとして入れること
2	第3章の結果が一人歩きをしないよう、注意事項欄に「詳細結果により数字が変わる」旨を記載する
3	水種別ごとの白地図は削除し、市町村2つ、土地改良区1つ、全体1つのみとする
4	想定最大発電ポテンシャルの定義付けを正しく説明すること
5	工業用水については、考察等で今後の可能性を引き出すような記載を追加すること
6	実現可能地点一覧の備考欄の記載が統一されていない(水利権表記ではないのか)
7	経産省未利用落差との比較で、「大きな水力の可能性のある地点に、小水力もある」のような表記を入れる
8	野沢温泉村地点実証試験の課題として、ごみ問題についても記載すること
9	野沢温泉村地点に関しては、信大協力にて出力測定を再度実施し、その結果を記載すること
10	栄村地点実証試験にて、本年の積雪量について記載すること
11	木曾町地点にて、クロスフロー水車についての説明を追記すること
12	木曾町地点にて、滝用水車方式のメリットに、安定的通年運転可能、見える化可能を追記すること
13	木曾町地点全量方式にて、デメリットに川の水が見えなくなるを追記する
14	木曾町概略検討のイメージ図を確実に記載すること
15	図や表には番号を振ること。図は下に、表は上に記載すること
16	実証試験報告の出力測定曲線について、説明を追加すること
17	第5章を4章にし、第4章を5章とすること。
18	最終章に、「まとめ」を記載すること。地域の意見やコメント、次につながるものを記載したい
a	実証試験地点における連続運転に関するデータの記載をすること
b	ダリウス水車に関する、水量(水位)と発電量の相関に関する考察を記載すること